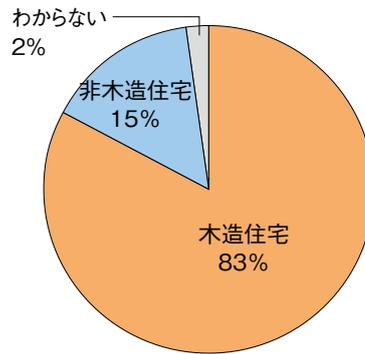


日本の木材（国産材）を 利用する取組に対する支援

【現状と課題】

国産材を使った住宅を建てるにはどうすればいいの？

内閣府の調査によると、今後、住宅を建てたり買ったりする場合、8割を超える人が「木造住宅を選ぶ」と答えており、このうち35%の方が「木造住宅を選ぶ際に国産材が使用されていることを重視する」と答えています。その一方で、「国産材を使用した住宅を建てる際に必要となる情報がどこで手に入ることかわからない」との声が聞かれます。

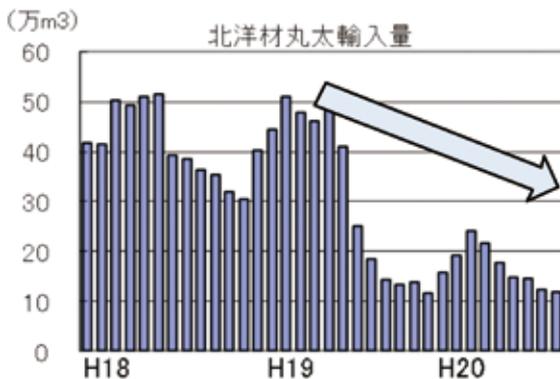


資料：内閣府「森林と生活に関する世論調査」（平成19年）

製材の原料を外材から国産材へ転換するにはどうすればいいの？

国内の森林資源が充実しつつある一方、北洋材丸太の輸入量が減少するなどの状況の中、原料としての国産材に期待が高まっています。従来、主に外材を原料として使用してきた製材業者の方々から、「原料に国産材を使って消費者ニーズに応えたい」、「外材から国産材へ原料を転換したいが、資金繰りが不安」など

北洋材の輸入量が減少



資料：財務省「貿易統計」

現状のまま推移した場合、伐採利用可能な森林は10年後には67%に



資料：林野庁業務資料

【支援の内容】

① 消費者に必要な情報を提供

○インターネット上の総合的な情報サイト「日本の木のいえ情報ナビ」と専門の相談員が電話でご相談に応じる「日本の木のいえ相談窓口」を開設し、国産材住宅に関する総合的な情報を提供しています。

○全国の国産材を扱う大工・工務店・建築士や家を建てる際の有利な助成制度など、国産材住宅を建てる際に必要となる様々な情報が手に入ります。

② 中小製材工場による取組を支援

○中核工場と連携して中小製材工場が生産品目を転換し、品質・性能の確かな製品の製造に取り組み場合や、外材主体の製材工場が外材から国産材への原料転換に取り組み場合に必要となるツインバンドソーやギヤングリップパーなどの木材処理加工施設等の導入を支援します。

○また、導入する施設や品目転換の内容について、専門家による技術指導・経営指導を実施します。

③ 国産材への原料転換等を進める取組を支援

○原料を国産材へ転換するため、転換する樹種や生産品目に適した新たな加工設備の導入に必要な資金やそれに伴う既存設備の廃棄等に必要資金、経営の安定に必要な長期運転資金を借り入れる場合、その利子に対する助成を実施します。

○経営の多角化等を図るために必要となる資金を借り入れる場合、その利子に対する助成を実施します。

○製材業・木材販売業等を営む企業がリースにより機械設備を導入する場合、そのリース料の一部を助成します。



丸太から単板（合板などの原料）を製材する機械（ロータリーリース）

● 日本の木のいえ相談窓口

TEL：03（3585）9311

● 日本の木のいえ情報ナビ

<http://www.nihon-kinoino.jp/>



「日本の木のいえ情報ナビ」ホームページ



国産材の加工に適した製材機（ツインバンドソー）



工場ごとに役割を分担することで生産効率がアップ

原料を国産材に転換することで、
為替リスクや原料調達に関する不安が解消



外材原木



国産材原木